

令和3年度ネットリサーチ「医療に関する意識」に関するアンケート結果報告書

■結果のポイント

- 最初に利用する医療機関については、「医院（クリニック・診療所）（入院病床0～19床）」が69.0%で最も高い。
- かかりつけ医・歯科医・薬局を決めているかについては、かかりつけ医（病院・医院）を「決めている」は59.5%となっている。
- 救急車を呼ぶかどうかの相談窓口等の認知・利用状況については、「#8000（茨城子ども救急電話相談）」については、「利用したことがあり、役に立った」（7.3%）、「利用したことがあるが、役に立たなかった」（5.2%）、「知っているが、利用したことはない」（16.3%）を合わせた【知っている】は、28.8%となっている。

■調査結果の概要

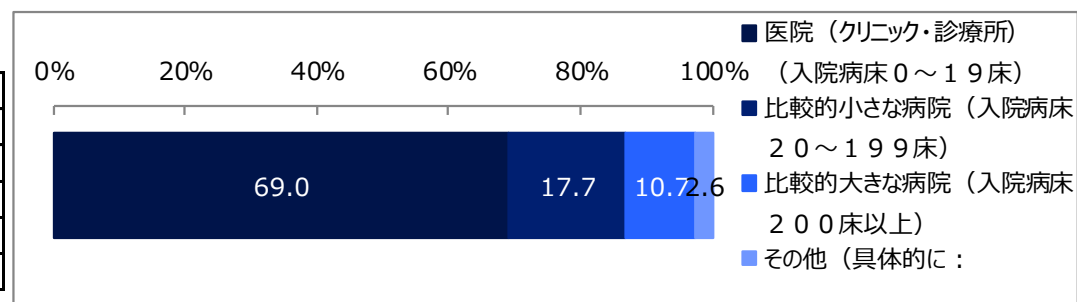
1 最初に利用する医療機関

◇ 「医院（クリニック・診療所）（入院病床0～19床）」が69.0%で最も高い。

Q1.あなたは、医療機関を利用する場合に、最初にどこに行きますか。

SA

	%	n
全体	100.0	1000
医院（クリニック・診療所）（入院病床0～19床）	69.0	690
比較的小さな病院（入院病床20～199床）	17.7	177
比較的大きな病院（入院病床200床以上）	10.7	107
その他（具体的に：	2.6	26



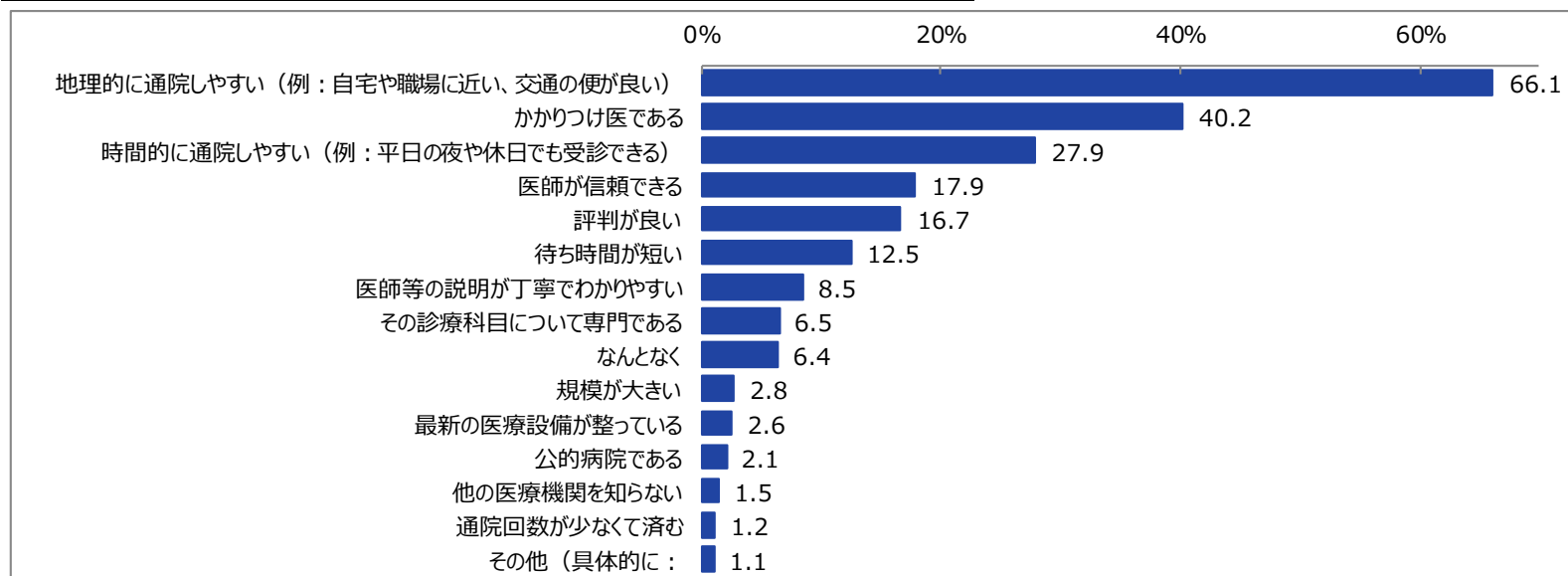
2 医療機関を選ぶ基準

- ◇ 「地理的に通院しやすい（例：自宅や職場に近い、交通の便が良い）」が66.1%で最も高く、次いで「かかりつけ医である」が40.2%、「時間的に通院しやすい（例：平日の夜や休日でも受診できる）」が27.9%と続く

Q2.あなたは、利用する医療機関をどのような基準で選んでいますか。あてはまるものを3つまで選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	1000
地理的に通院しやすい（例：自宅や職場に近い、交通の便が良い）	66.1	661
かかりつけ医である	40.2	402
時間的に通院しやすい（例：平日の夜や休日でも受診できる）	27.9	279
医師が信頼できる	17.9	179
評判が良い	16.7	167
待ち時間が短い	12.5	125
医師等の説明が丁寧でわかりやすい	8.5	85
その診療科目について専門である	6.5	65
なんとなく	6.4	64
規模が大きい	2.8	28
最新の医療設備が整っている	2.6	26
公的病院である	2.1	21
他の医療機関を知らない	1.5	15
通院回数が少なくて済む	1.2	12
その他（具体的に：	1.1	11

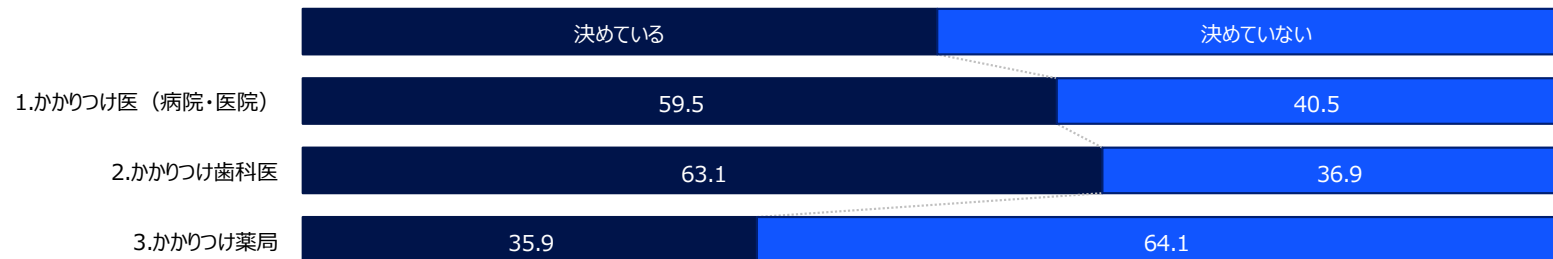


3 かかりつけ医・歯科医・薬局を決めているか

◇ かかりつけ医（病院・医院）を「決めている」は59.5%となっている。

Q3.あなたは、かかりつけ医・歯科医・薬局を決めていますか。それぞれについて、あてはまるものを選んでください。

SA



	% n	決めている	決めていない
1.かかりつけ医（病院・医院）	100.0 1000	59.5 595	40.5 405
2.かかりつけ歯科医	100.0 1000	63.1 631	36.9 369
3.かかりつけ薬局	100.0 1000	35.9 359	64.1 641

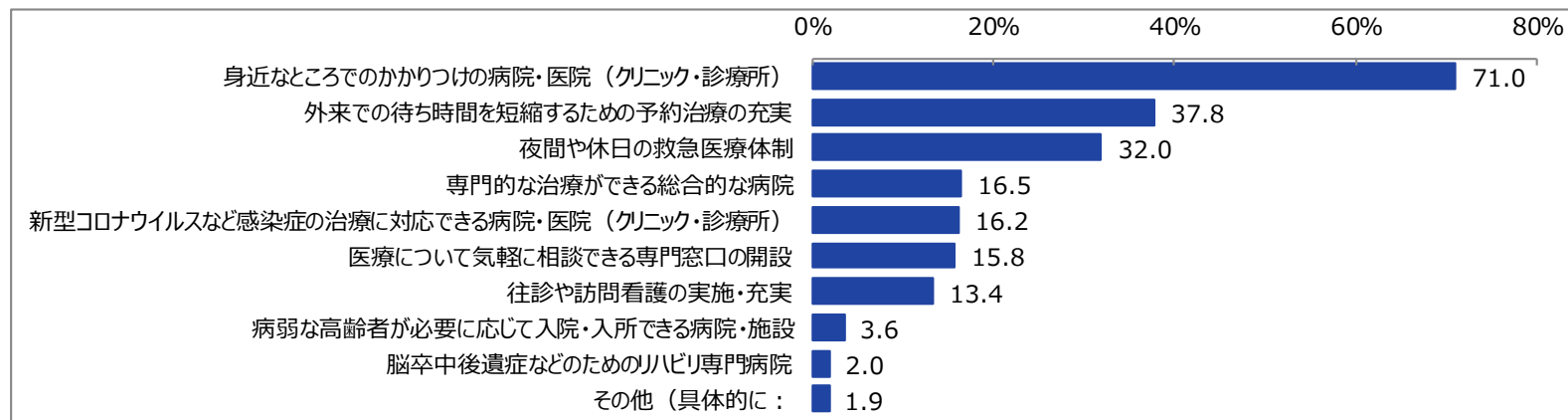
4 身近な地域に期待する医療施設や医療サービス

- ◇ 「身近なところでのかかりつけの病院・医院（クリニック・診療所）」が71.0%で最も高く、次いで「外来での待ち時間を短縮するための予約治療の充実」が37.8%、「夜間や休日の救急医療体制」が32.0%と続く。

Q4.あなたは、今後あなたの身近な地域にどのような医療施設や医療サービスを期待しますか。次の中から、あてはまるものを3つまで選んでください。

MA

	%	n
全体	100.0	1000
身近なところでのかかりつけの病院・医院（クリニック・診療所）	71.0	710
外来での待ち時間を短縮するための予約治療の充実	37.8	378
夜間や休日の救急医療体制	32.0	320
専門的な治療ができる総合的な病院	16.5	165
新型コロナウイルスなど感染症の治療に対応できる病院・医院（クリニック・診療所）	16.2	162
医療について気軽に相談できる専門窓口の開設	15.8	158
往診や訪問看護の実施・充実	13.4	134
病弱な高齢者が必要に応じて入院・入所できる病院・施設	3.6	36
脳卒中後遺症などのためのリハビリ専門病院	2.0	20
その他（具体的に：	1.9	19



5 救急車を呼ぶかどうかの相談窓口等の認知・利用状況

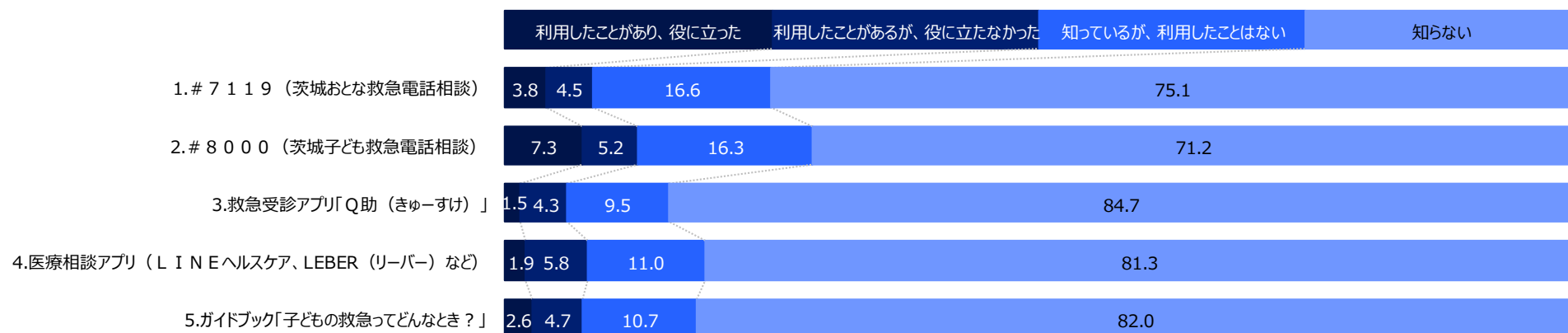
- ◇ 「#8000（茨城子ども救急電話相談）」については、「利用したことがあり、役に立った」(7.3%)、「利用したことがあるが、役に立たなかった」(5.2%)、「知っているが、利用したことはない」(16.3%)を合わせた【知っている】は、28.8%となっている。

Q5.あなたやあなたの家族が急な病気やけがをしたときに、救急車を呼んだほうがいいのか、自分で病院を受診すればいいかを判断するために、ガイドブックや、専門家に相談できる電話相談窓口があります。

この中から、あなたが実際に知っていたり、利用したりしたことがあるかどうか、また利用したことがある場合は役に立ったかどうかについて、それぞれにあてはまるものを選んでください。

(参考) 茨城県救急電話相談について：<https://www.pref.ibaraki.jp/bugai/koho/kenmin/life/hoken/isei/01/isei-001.html>

SA



	% n	利用したことがあり、役に立った	利用したことがあるが、役に立たなかった	知っているが、利用したことはない	【知っている】	知らない
1.#7119 (茨城おとな救急電話相談)	100.0 1000	3.8 38	4.5 45	16.6 166	24.9 249	75.1 751
2.#8000 (茨城子ども救急電話相談)	100.0 1000	7.3 73	5.2 52	16.3 163	28.8 288	71.2 712
3.救急受診アプリ「Q助 (きゅーすけ)」	100.0 1000	1.5 15	4.3 43	9.5 95	15.3 153	84.7 847
4.医療相談アプリ (LINEヘルスケア、LEBER (リーバー) など)	100.0 1000	1.9 19	5.8 58	11.0 110	18.7 187	81.3 813
5.ガイドブック「子どもの救急ってどんなとき？」	100.0 1000	2.6 26	4.7 47	10.7 107	18.0 180	82.0 820

6 AEDの使用

- ◇ 「音声案内にしたがってだれでも使用できることを知っているが、実際にAEDを使えるかはわからない」が35.4%で最も高く、次いで「音声案内にしたがってだれでも使用できることを知っており、実際にAEDを使うことができる」が34.7%と続く。

心臓が止まった人に電気ショックを加えて心臓を動かす「AED（自動体外式除細動器）」という機器についてお尋ねします。

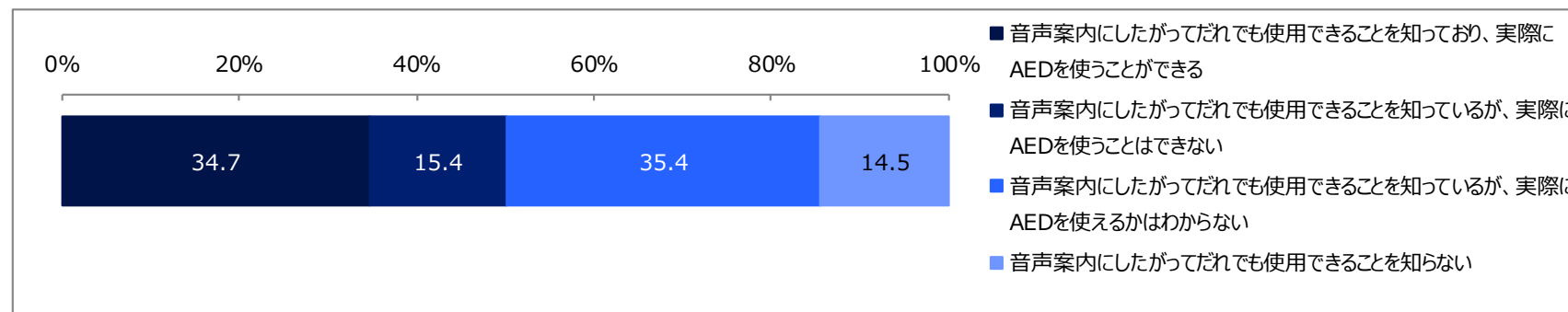
Q6.あなたは、AEDが、音声案内にしたがってだれでも使用できることを知っていますか。

また、もし、見知らぬ人が目の前で突然倒れた場合、その場にAEDがあれば、あなたはその人にAEDを使うことができますか。あてはまるものを選んでください。

（参考）茨城県AED設置登録施設：<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/iryo/iryo/isei/div/system/emergency/aed/index.html>

SA

	%	n
全体	100.0	1000
音声案内にしたがってだれでも使用できることを知っており、実際にAEDを使うことができる	34.7	347
音声案内にしたがってだれでも使用できることを知っているが、実際にAEDを使うことはできない	15.4	154
音声案内にしたがってだれでも使用できることを知っているが、実際にAEDを使えるかはわからない	35.4	354
音声案内にしたがってだれでも使用できることを知らない	14.5	145



■調査の目的

県では、県民誰もが安心して質の高い医療を受けることができる体制の構築を目指し、保健医療行政の指針として「茨城県保健医療計画」を策定・推進している。県民の医療ニーズに関する意識調査を実施することで、現在進めている第7次茨城県保健医療計画（H30～R5年度）において設定している数値目標の進捗状況を把握するとともに、第8次計画（R6～R11年度）を策定する際の基礎情報として活用する。

また、救急電話相談（#7119、#8000）及びAEDに関して、認知状況などの把握に努め、今後の普及啓発や関係機関との情報共有に活用する。

■実施概要

- ・実施期間 令和4年1月19日～1月26日
- ・サンプル数 茨城県常住人口調査（令和3年4月1日現在）に基づく性別・年代・居住地（5地域）の割合で割り付けた18歳以上の県民1,000サンプル

回答者数（人）

		県北	県央	鹿行	県南	県西	計
全体		116	246	96	353	189	1,000
性別	男性	60	125	51	181	99	516
	女性	56	121	45	172	90	484
年代別	18～29歳	18	42	17	66	33	176
	30歳代	17	43	17	62	31	170
	40歳代	24	57	21	83	42	227
	50歳代	27	53	19	72	39	210
	60歳代	30	51	22	70	44	217

県北：日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、久慈郡

県央：水戸市、笠間市、ひたちなか市、那珂市、小美玉市、東茨城郡、那珂郡

鹿行：鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市

県南：土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡

県西：古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(注)

1. 「ネットリサーチ」の回答者は、民間調査会社のインターネットリサーチモニターであり、無作為抽出された調査対象者ではない。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。